

第4章 環境の評価と課題

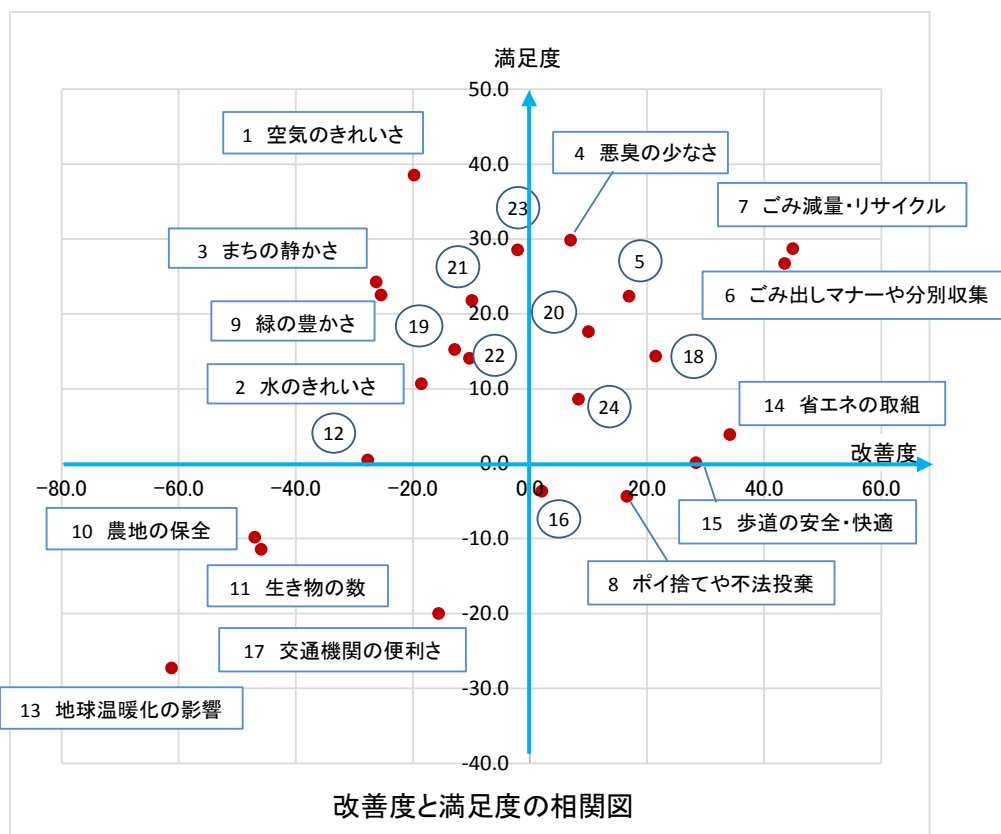
1 アンケート調査による評価

(1) 市民アンケート

本計画の策定にあたり、市民へのアンケートによる意識調査を実施しました。本市の現在の環境に関する「満足度」と、以前の環境と比較した「改善度」をお聞きしました。2つの設問の回答を指数化し、相関関係を示したのが下記の図です。

グラフでは、●が縦軸の上にあるほど満足度が高く、横軸の右にあるほど改善度が高い（以前と比べて良くなった）と評価されていることを示しています。

表中の番号と項目は、グラフ中の●の番号に対応しています。



1 空気のきれいさ	13 地球温暖化の影響
2 川や池、海の水のきれいさ	14 省エネルギーの取組
3 まちの静かさ	15 歩道の安全性、快適性
4 いやな臭いなど悪臭の少なさ	16 身近な公園や広場の使いやすさ
5 水の循環利用や節水の取組	17 バスなどの交通機関の便利さ
6 ごみ出しなどのマナーや分別収集	18 史跡や文化財の保護
7 ごみの減量やリサイクルの取組	19 地域の祭りなど伝統・文化の継承
8 ポイ捨てや不法投棄の状況	20 街並みの景観、美しさ
9 山や森の緑の豊かさ	21 自然の景色、風景の美しさ
10 田畑など農地の保全	22 川のある風景、景観の美しさ
11 水辺や野山に生息する生き物の数	23 海・島の風景、景観の美しさ
12 身近な自然とふれあう場所や機会	24 学校や地域での環境学習

※満足度の評価: 満足(+1)点、やや満足(+0.5)点、どちらとも言えない(0)点、やや不満(-0.5)点、不満(-1)点とした回答比率
 ※改善度の評価: 以前の方がよかった(-1)点、変わらない(0)点、今の方が良くなった(+1)点とした回答比率

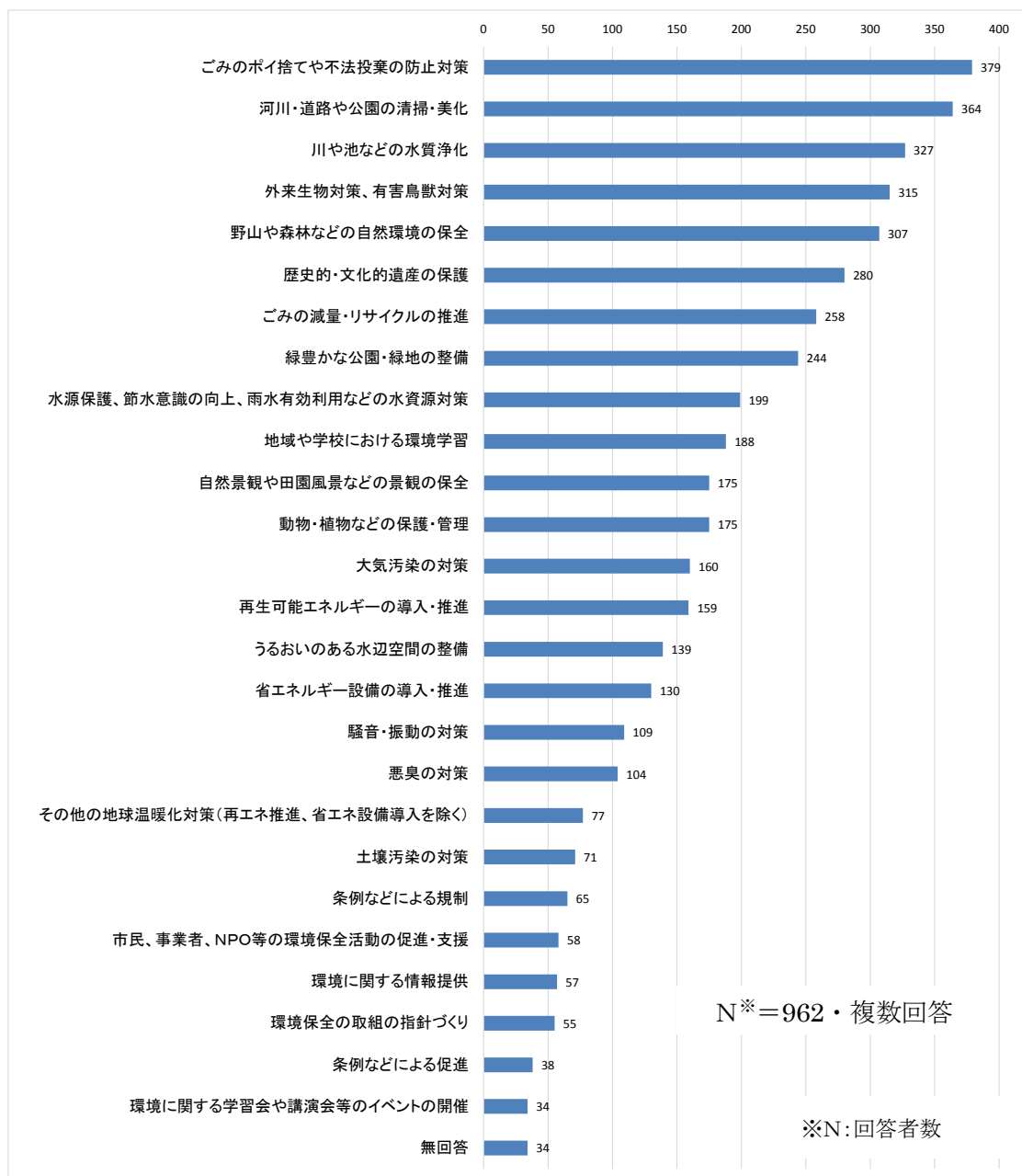
「ごみの減量やリサイクルの取組」と「ごみ出しなどのマナーや分別収集」がともに、以前よりも改善され、満足な状況にあると評価されています。

「空気のきれいさ」「海・島の風景、景観の美しさ」「いやな臭いなど悪臭の少なさ」は、一部改善度がややマイナスではあるものの、満足度は高く評価されています。

「地球温暖化の影響」「バスなどの交通機関の便利さ」「水辺や野山に生息する生き物の数」「田畑など農地の保全」は、改善度・満足度ともにマイナスの厳しい評価となっています。

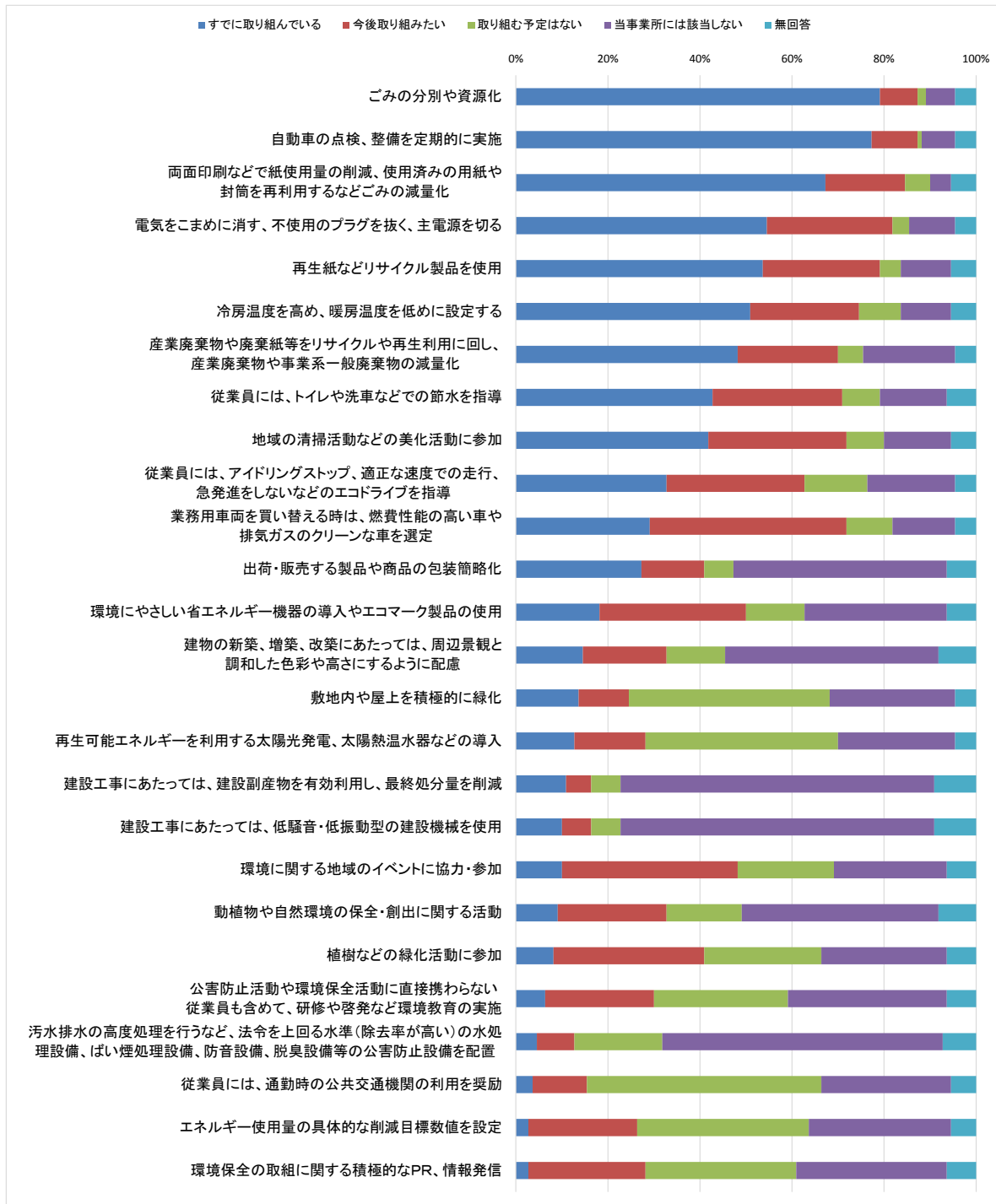
今後、本市が取り組むべき環境課題として、「ごみのポイ捨てや不法投棄の防止対策」(39.4%)、「河川・道路や公園の清掃・美化」(37.8%)の重要度が高い状況です。

これに次いで、「川や池などの水質浄化」(34.0%)、「外来生物対策、有害鳥獣対策」(32.7%)、「野山や森林などの自然環境の保全」(31.9%)があがっています。



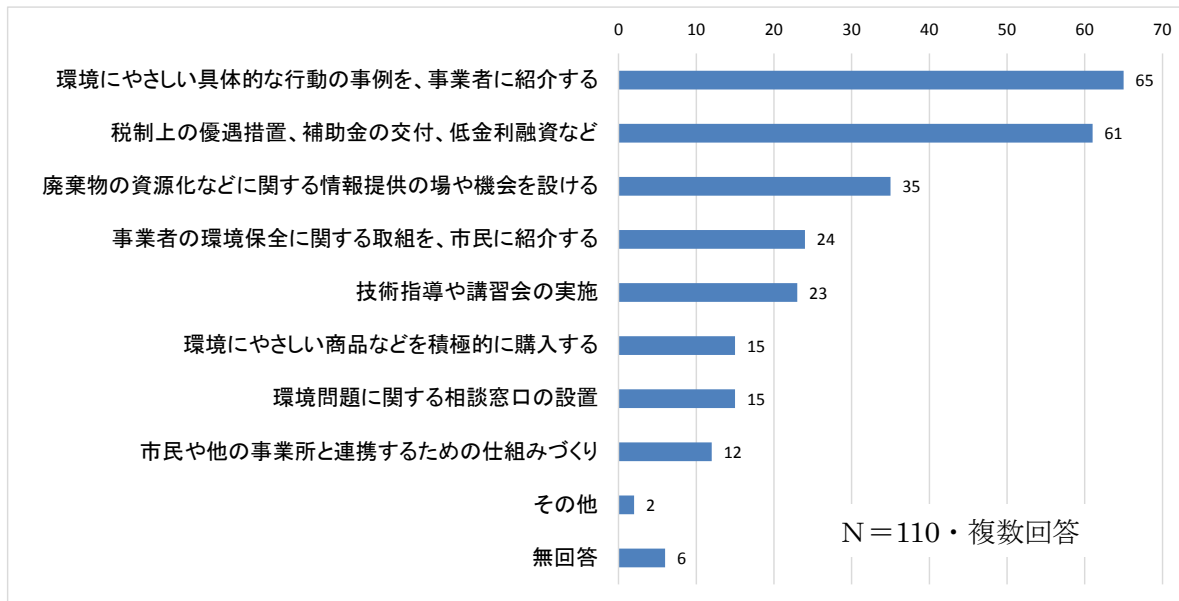
(2) 事業者アンケート

事業者の環境保全の行動に対する回答では、「ごみの分別や資源化」「自動車の点検、整備を定期的実施」は75%以上が実施しています。「両面印刷などで紙使用量の削減、使用済みの用紙や封筒を再利用するなどごみの減量化」「電気をこまめに消す、不使用のプラグを抜く、主電源を切る」「再生紙などリサイクル製品を使用」「冷房温度を高め、暖房温度を低めに設定する」など経費削減にもつながる行動について、50%以上が実施していると回答しています。



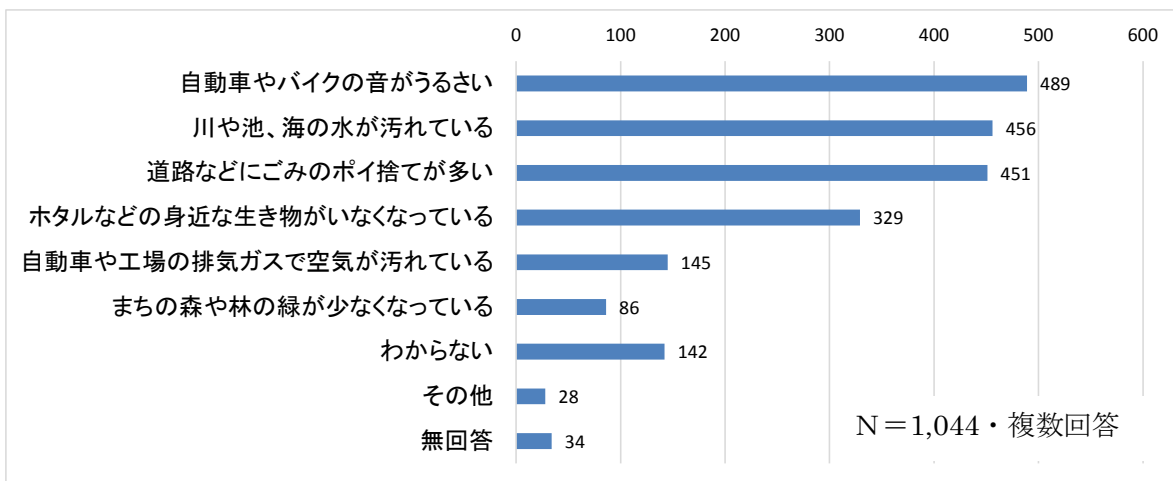
N = 110

本市が力を入れていくべきとする課題として、「環境にやさしい具体的な行動の事例を、事業者で紹介する」(59.1%)、「税制上の優遇措置、補助金の交付、低金利融資など」(55.5%)を半数以上の事業者があげています。



(3) 中学生アンケート

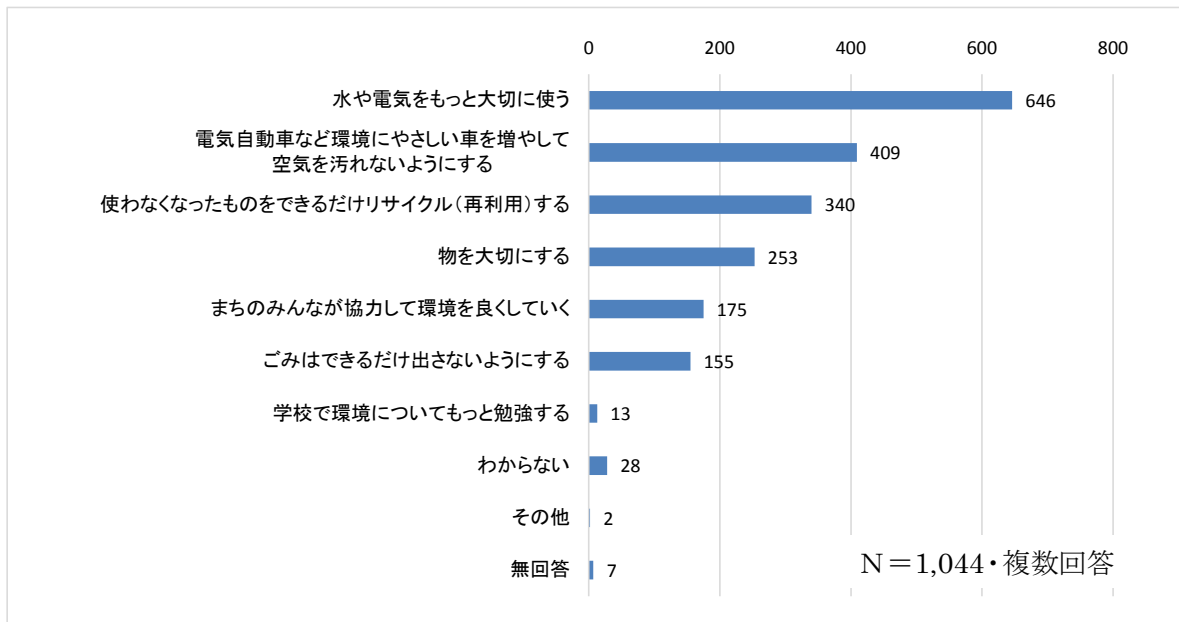
学校や家の周りで気になっている環境問題について、「騒音」「水の汚れ」「ポイ捨て」があがっています。「水の汚れ」や「ポイ捨て」に関しては、市民アンケートでも同様に問題としてあがっていますが、中学生アンケートでは「自動車やバイクの音がうるさい」という「騒音」が最も大きな問題としてあがっています。勉強している時間が多い中学生にとって、静かな環境を重視していることがうかがわれます。



地球環境を良くしていくために必要なこととして、「水や電気をもっと大切に使う」(61.9%)が最も多く、水や電気などの資源やエネルギーに対する意識が高いことがうかがわれます。

次いで「電気自動車など環境にやさしい車を増やして空気を汚れないようにする」(39.2%)、「使わなくなったものをできるだけリサイクル(再利用)する」(32.6%)があがっています。

一方、「学校で環境についてもっと勉強する」(1.2%)は、非常に少ない回答となっています。



2 現況と課題

本市の環境の現況とアンケート調査から、現状の評価と課題等についてまとめます。

環境分野		評価、問題点、課題等
生活環境	大気	<p>大気の状態は、概ね良好ではあるものの、光化学オキシダントと微小粒子状物質（PM2.5）では、環境基準値超過が見られます。これらには、国外からの飛来物質による影響も考えられます。</p> <p>市民アンケートでは、「空気のきれいさ」が最も満足度の高い項目にあがっています。</p> <p>公害苦情では、「野焼き」に関するものが毎年度 30 件程度寄せられています。</p> <p>大気汚染の未然防止とともに、広域での監視体制の継続、緊急時の対応に関する情報提供が求められます。</p>
	水質	<p>環境基準類型が指定されている河川のA類型 3 地点、B類型 1 地点、C類型 2 地点の 6 地点のうち、C類型の 1 地点で基準値超過が続いていましたが、平成 26 年度（2014 年度）では基準値を下回りました。環境基準類型指定がない地点を含め、全体的に水質の改善傾向が見られます。</p> <p>アンケートでは、市民・中学生ともに、本市の川・海の景観を含め、「水」に対する意識、関心が非常に高いことがうかがえます。</p> <p>市民アンケートでは、「川や池、海の水のきれいさ」の満足度は、比較的低い評価です。また、本市が取り組むべき環境づくりの対策として「川や池の水質浄化」が上位 3 番目にあがっています。</p> <p>市民・中学生のアンケートの自由意見には、「きれいな川や海を守る」ことに対する意見が非常に多く寄せられています。</p> <p>県内他市町と比較して下水道等の普及率が低く、市民からは、下水道等の整備推進に対する要望が寄せられています。</p> <p>水質測定の継続、下水道等の整備、ポイ捨て・不法投棄の防止なども含め、地域が連携した水環境の保全対策の推進が課題です。</p>
	騒音	<p>騒音調査結果では、交通騒音による環境基準値超過が見られます。</p> <p>新幹線による鉄道騒音は、基準値を満足しています。</p> <p>市民アンケートには、住宅が密集している市街地での、高齢者の住宅から発生する音響機器などの生活騒音に対する意見が見られます。</p> <p>中学生アンケートでは、「自動車やバイクの音がうるさい」という意見が多く寄せられています。</p> <p>交通騒音の削減対策を継続するとともに、快適な生活環境を守るためのルールやマナーの啓発が必要となっています。</p>

環境分野		評価、問題点、課題等
生活環境	悪臭	市民アンケートでは、「いやな臭いなど悪臭の少なさ」の満足度は高く、改善度もわずかにプラスに評価されています。
		今後も、違法な野焼きなど悪臭の原因となる行為の防止に努めるとともに、他の公害と同様に発生時の的確な対応が求められます。
自然環境	自然環境	北部の豊かな緑、南部の美しい海に囲まれた瀬戸内の島々まで多彩な自然環境に恵まれています。
		市民アンケートでは、「山や森の緑の豊かさ」に対する評価は、比較的満足度は高く、改善度はマイナス（悪化している）となっています。
		将来の尾道市のイメージについて、「自然のあふれる環境」「海、山、島」「緑豊か」「自然と街並みの調和」などをキーワードとする回答が多く寄せられています。
		市民アンケートの環境施策の要望では、ポイ捨て対策や美化に次いで5番目に「野山や森林などの自然環境の保全」があがっています。
		里山、街並み、海・島の景観を形成する、豊かで美しい自然環境を将来に引き継ぎ、さらに良い自然環境を創りだしていくことは、本市の大きな課題です。
		自然環境の保全には、一人ひとりが身近な自然を知り、学び、理解することが必要です。自然体験や観察会などの拡充が望まれます。
生物多様性	生物多様性	山から海までの多彩な自然環境に適した生物が生息しています。
		市民アンケートでは、「水辺や野山に生息する生き物の数」と「田畑など農地の保全」の満足度はマイナスであり、改善度では、以前より悪化していると評価されています。
		市民からは、「ホタルが見られる川」「アサリが採れる海」の保全を求める意見が寄せられています。
		市民アンケートの市に対する環境施策の要望では、「外来生物対策、有害鳥獣対策」が4番目にあがっています。
		市民と中学生からもイノシシの被害の状況や対策を求める意見が多く寄せられています。
		自然環境の保全とともに、生物多様性に関する認識を高め、身近な地域の動植物とより良いかたちで共生していく環境づくりが求められます。
		特定外来生物に関する情報提供、安易な取得や移動の禁止等に関する啓発が必要です。

環境分野		評価、問題点、課題等
地球環境	地球温暖化	<p>環境省の推計では、本市の二酸化炭素排出量の約65%を産業部門が占めており、製造業等の動向が大きく影響する状況です。</p> <p>アンケート調査では、エネルギー消費量の変化について、市民、事業者ともに「減っている」とする回答が「増えている」を上回っています。</p> <p>また、エネルギー消費量は「あまり変化はない」とする回答が、市民、事業者ともに55%と半数以上になっています。</p> <p>省エネルギーに対する意識と行動の実践を高め、エネルギー消費量削減の結果を実感する市民や事業者が増えることが望まれます。</p> <p>市民、事業者ともに、省エネルギー機器や再生可能エネルギー利用設備に「導入意向」や「興味がある」とする回答は、「すでに導入している」を上回っており、今後の普及が期待されます。</p> <p>設備や機器の導入支援や情報提供などの充実により、温室効果ガス削減の取組の一層の推進が期待されます。</p>
	廃棄物	<p>アンケート調査では、「ごみの減量やリサイクル」「ごみ出しのマナーや分別収集」は、満足度が高く、改善度も高く評価されています。</p> <p>一方、ごみの収集について、「分別がわかりにくい」「集積場の増設・整備」などに対する意見が見られます。特に「高齢者には分別が難しい」との声が寄せられています。</p> <p>本市の資源ごみ等の資源化率は、全国平均を下回って推移しています。</p> <p>ポイ捨て・不法投棄に対する意見も多く寄せられています。中学生アンケートにおいても、海や川、路上、公園等のポイ捨てに対する意見が非常に多くあがっています。</p> <p>市民アンケートでの市に対する環境施策の要望で、最も多くの回答を集めたのが「ごみのポイ捨てや不法投棄の防止対策」でした。</p> <p>4Rの推進、分別の周知、収集方法の改善、マナーやルールの啓発などにより、市民の理解を高めていくことが必要です。</p>

環境分野		評価、問題点、課題等
快適環境	景観	本市の多彩な自然環境と街並みが調和し、多様で美しい景観を形成しています。
		アンケートでの景観の評価は、街並み、自然、川、海・島のすべての「風景や景観の美しさ」について以前と変わることなく、満足度が高く評価されています。この中で「海・島の風景、景観の美しさ」が最も高い満足度となっています。
		アンケートでは、大切にしたい場所や風景として、「千光寺からの瀬戸内海の風景」「尾道水道と島々の風景」などの回答が多く、これらが市民にとって、非常に重要な存在であることがうかがわれます。
		また、「尾道三山」「古い街並み」「坂のまち」「桜並木」「尾道大橋、因島大橋」「海岸」「尾道商店街」「尾道駅前」などの場所や風景も多くあがっています。
		市民アンケートの自由意見には、「空き家」や「耕作放棄地」の対策について多くの記述があります。特に住宅が密集している地区では、景観上の問題だけでなく、防犯や安全面の問題が指摘されています。
		「空き家」対策については、その有効活用を含め、喫緊の課題となっています。
		尾道水道と古寺、街並み、島・海岸が織りなす特徴的な景観をはじめ、本市の多様な景観を維持し、さらに美しい景観を創出していくことが求められます。
まちの美化	まちの美化	市民アンケートの市への環境施策の要望で、ポイ捨てや不法投棄防止対策に次いで多いのが「河川・道路や公園の清掃・美化」です。
		道路、歩道の整備とともに、街路樹や植込みの管理、ごみの除去や公共の場の美化に関する意見も多く寄せられています。
		観光のまちとして、地域の美化に対する意識は高いことがうかがわれます。
		観光客のおもてなしの観点から、より美しいまちの創出と維持が課題となっています。
マナー・モラル	マナー・モラル	本市において、「ごみのポイ捨てや不法投棄」とともに市民の問題意識が高いのが「飼い主のいない犬・猫」の問題です。
		糞尿などの害だけでなく、犬には人的被害の危険性を指摘する意見も寄せられています。
		ペットを安易に捨てたり、飼い主のいない犬・猫に無責任に餌をやったりする行為を抑制することが必要です。
		「ポイ捨て」や違法な「野焼き」の防止とともに、ペットの扱いや飼い主のいない犬・猫への適正な対応について、継続的に情報提供とマナー・モラルを啓発していくことが求められます。

環境分野		評価、問題点、課題等
快適環境	文化財・ 伝統文化	<p>本市は、古くから交通の要衝として栄えた歴史があり、多くの歴史的・文化的遺産が継承されてきました。</p> <p>市民アンケートでは、大切にしたい伝統行事として「ベッチャー祭り」「住吉花火まつり」「因島水軍まつり」「祇園祭」などがあがっています。</p> <p>また、大切にしたい場所として「千光寺」「西国寺」「浄土寺」などの寺社仏閣があがっています。</p> <p>これらの保全と次世代への継承が地域の大きな課題です。</p>
	交通・都 市整備	<p>市民アンケートでは、「バスなどの交通機関の便利さ」の満足度がマイナスの評価となっています。</p> <p>交通に関しては、高齢化を背景にした移動手段の確保、有料区間の無料化、慢性的な渋滞緩和などに多くの意見が寄せられています。</p> <p>サイクリストの増加に伴う、安全の確保に関する意見も多くあります。自転車道の整備、サイクリストへのわかりやすいマナーやルールの周知などが求められています。</p> <p>下水道等の整備・普及、公園・緑地の整備、防災など、都市整備に対しても多くの意見が寄せられています。</p> <p>尾道らしさを保ちつつ、市民や観光客が、安全・安心、快適に過ごすことができるまちづくりが求められています。</p>
環境教育・学習、 環境保全活動	環境教育 環境学習	<p>市民アンケートでの「学校や地域での環境学習」の評価は、改善度、満足度ともにプラスではあるものの中位からやや低い位置にあります。</p> <p>「環境教育や環境学習」に関しては、「ごみ」「ポイ捨て・不法投棄」や「景観」などの問題に比較して、関心が低いように思われます。</p> <p>市民の環境教育や環境学習に対する要望は、「学校での子どもたちへの環境教育」に対しては高いものの、「市民を対象にした環境学習会」に対しては低いため、市民の環境学習の意識を高めていくことが求められます。</p> <p>子どもたちへの環境教育・環境学習を維持するとともに、マナーやモラルの啓発を含め、市民が参加しやすい環境学習を充実し、地域の環境保全に関わる人材を育成していくことが求められます。</p>
	環境保全 活動	<p>本市では、「シティクリーニング」や「ゴミゼロウォーク」など身近な地域の美化活動や資源ごみ回収などの活動が積極的に進められています。</p> <p>市民アンケートでは、「シティクリーニングなどの美化活動」「花いっぱい運動など身近な地域の環境保全活動」への参加意向が合わせて約65%と高い状況です。</p> <p>今後とも、地域の身近な地域での美化活動や、参加しやすい環境保全活動等の機会を充実させながら、市民の参加を促進していくことが必要です。</p>